ACSES ニュースレター_２０１８号（2021 年 1 月 20 日）

発行：NPO 法人教育研究機関化学物質管理ネットワーク（ACSES）事務局

―――大寒―――

―目次（15 頁）―

[1] 化学物質関係事故、事件関係
◇石綿（アスベスト）含有品の流通と販売者等による回収について〈厚生労働省〉
◇「大麻リキッド」押収量急増　手軽に吸引、若者にまん延―強い幻覚作用、危険性高く〈Web 報道〉
◇令和 3 年　労度災害発生状況〈厚生労働省〉
◇千葉の山林でカモ猟の男性 3 人の遺体…テント内には石油ストーブ　一酸化炭素中毒か？〈Web 報道〉
◇[中国] 中国 乳幼児用クリームで“赤ちゃんの顔 腫れあがる被害”〈放送報道〉
◇火災、爆発事故等（省庁発表）：１件〈経済産業省〉
◇その他の事故、事件
・消費生活用製品の重大製品事故:リコール製品で火災等(ノートパソコン、電気毛布)〈消費者庁〉
・マスク拒否し緊急着陸させた大学職員逮捕　威力業務妨害などの疑い　大阪府警〈新聞報道〉
◇事故・事件対策、措置、訴訟等
・高校の校舎の壁から“大量の産業廃棄物”…学校側が約 50 億円の損害賠償等求め前田建設工業を提訴〈放送報道〉
□大災害、原発事故対策
[原子力施設全般]
・原発立地、国の厚い支援延長へ　福島事故後初も議論なし〈新聞報道〉
・原発立地の議員、厳秘で会合「波風立てず延長決めたい」〈新聞報道〉
[大震災対策]
・地震発生の切迫度 31 の活断層 阪神・淡路大震災直前と同等以上〈放送報道〉
[2] [特集] 新型コロナウイルス感染症
[状況]
◇省庁発
◇マスコミ報道　見出し
[対策・予防]
◇省庁発表
◇マスク
◇ワクチン、検査薬、治療薬等
◇大学等関係
◇マスコミ報道　見出し
[3] 健康安全
◇家庭内で受動喫煙 10 年超…若者の虫歯リスク 1.5 倍に〈新聞報道〉
[4] 肥料
◇肥料を登録した件（農林水産省告示第 129 号）〈官報〉
[5] 環境安全関係
◇ 北九州響灘洋上ウィンドファーム（仮称）に係る環境影響評価準備書に対する環境大臣意見の提出について〈環境省〉
◇（仮称）石狩湾沖洋上風力発電事業に係る計画段階環境配慮書に対する環境大臣意見の提出について〈環境省〉
[6] 調査、公募、意見募集等
[公募、意見募集等]　１件　[調査結果]　１件　[統計資料]　１件
[7] その他省庁発表　１件

山茶花（サザンカ）

[8] 関連会議等の開催案内、開催記録・報告、資料等
［開催案内］　15 件
[9] その他
◇インフルエンザ、感染症関係：４件
[付録]
◇マスク
・マスクの選び方は？ ウレタンは性能劣る【素材別の比較結果】〈Web 報道〉
・マスク+２メートル　コロナ対策で新様式の合唱とは〈新聞報道〉

****

[1] ***化学物質関係事故、事件関係***

◇石綿（アスベスト）含有品の流通と販売者等による回収について

＜厚生労働省　2021 年 1 月 15 日＞
https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=l28uRc-3xqOWziAFY
石綿（アスベスト）が含まれていることが判明した製品及び販売者等による回収などについて、以下のとおりお知らせいたします。

＜石綿含有の可能性があることが判明した製品＞

１　輸入者・販売者
　輸入者：不二貿易株式会社（福岡県北九州市若松区大字安瀬 64-36）
　販売者：株式会社ワッツ（大阪府大阪市中央区城見 1-4-70）
２　製品名等
　別紙の珪藻土バスマット、水切りマット（４種類）
※商品の詳細等については、下記の不二貿易株式会社、株式会社ワッツの問合せ窓口までお問い合わせ下さい。
３　流通数
　計 5,595 個

＜対象製品をお持ちの皆様へ＞

○　対象製品をお持ちの方は、**不二貿易株式会社または株式会社ワッツで回収します**ので、回収方法などについて不二貿易株式会社または株式会社ワッツにお問い合わせください。**ごみ等で廃棄したり、指定の方法以外で返送したりしないよう**お願いします。
【不二貿易株式会社　お問合せ先】電話番号：0120-115-668（フリーダイヤル）
※受付時間：9:00～17:00（土日祝日を除く）メールアドレス：info@fujiboeki.co.jp
【株式会社ワッツ　お問合せ窓口】電話番号：06-4792-3281　※受付時間：9:00～17:00
○　固形のバスマットや水切りマットについては、**通常の使い方で使用している限りは石綿（アスベスト）が飛散するおそれはなく、健康上の問題を生じさせるおそれはありません。**
しかしながら、**削ったり割ったりした場合など破損したときには飛散するおそれがありますので、破損しないよう**にお願いします。
○　もしすでに破損しているなどでご心配な場合は、ビニール等に入れ、テープ等でしっかりと封をして、回収まで保管してください。

＜石綿対策についてのお問い合わせ＞

○　石綿対策については、厚生労働省までお問い合わせ下さい。
（厚生労働省の問合せ先）　03-6812-7808　平日対応時間：10:00～16:00（当分の間）

◇「大麻リキッド」押収量急増　手軽に吸引、若者にまん延―強い幻覚作用、危険性高く

＜時事ドットコム　2021 年１月 19 日＞　https://www.jiji.com/jc/article?k=2021011800606&g=soc

「大麻リキッド」と呼ばれる液状大麻の押収量が急増している。東京税関が昨年押収した量は２０１９年の７０倍近くに増える見通しで、税関関係者は「爆発的な増加」と危惧。液状の物は乾燥大麻より危険性が高いとされる上、その手軽さから若い世代に常習者が多いといい、警察当局などは警戒を強めている。

液状大麻は、大麻草からテトラヒドロカンナビノール（ＴＨＣ）など幻覚作用のある成分を抽出して作る。ＴＨＣ濃度は乾燥大麻より高いとされ、液体をカートリッジに注入し、電子たばこのように吸えるのが特徴だ。警視庁関係者は「(使用者は) 若い人に多い。ここ１０年ぐらいで広まってきた印象」と話す。

東京税関によると、液状大麻の押収は以前からあったが、昨年大幅に増えた。新型コロナウイルス感染拡大の影響で航空機の乗客や商業貨物などからの大麻全体の摘発は減少する一方、液状大麻については昨年１～６月に計約９キロ、７～１１月末には計約１８キロを押収した。１９年は１年間で約４００グラムだった。

昨年押収した液状大麻は、蜂蜜などの瓶に入っているケースが多かった。税関関係者は「ワインなど瓶の輸入はそもそも多く、(大麻草など) 葉っぱの状態ならＸ線で見破れるが、瓶で偽装されると見つけにくいし、開けづらい」と明かす。警視庁関係者も「大麻草に比べ、におわない」と発見が難しい理由を説明する。

昨年１０月には、自宅で大麻リキッドを所持したとして、埼玉県警が大麻取締法違反の疑いで、関東信越国税局職員だった２０代の男を逮捕するなど、検挙も相次ぐ。警視庁関係者は「外国で廉価で手に入れた物を密輸入し、高値で売っている可能性もある。税関などと連携して取り締まりを強化していく」と話している。

◇令和３年　労度災害発生状況　　――部抜粋―

＜厚生労働省　2021 年１月 19 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=E-uXOkDhWDdstTyBY

https://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/anzeneisei11/rousai-hassei/index.html

	高温・低温物との接触	有害物との接触	爆発	破裂	火災	合計
全産業	19	20	4	2	6	718
製造業	4	9	2	0	4	121
鉱業	0	0	0	0	0	7
建設業	5	5	2	1	1	240
交通運輸事業	0	0	0	0	0	9
陸上貨物　運送事業	0	1	0	1	0	79
港湾運送業	0	0	0	0	0	4
林業	0	0	0	0	0	33
農業、畜産・水産業	1	0	0	0	0	32
第三次産業	9	5	0	0	1	193
商業	3	0	0	0	0	69
うち小売業	2	0	0	0	0	48
金融・広告	0	0	0	0	0	1
通信	0	0	0	0	0	3
保健衛生業	0	0	0	0	0	11

うち社会福祉施設	0	0	0	0	0	7
接客・娯楽	0	0	0	0	1	6
うち飲食店	0	0	0	0	0	1
清掃・と畜	4	2	0	0	0	45
警備業	1	2	0	0	0	24
その他	1	1	0	0	0	34

◇千葉の山林でカモ猟の男性３人の遺体…テント内には石油ストーブ　**一酸化炭素中毒**か？
＜FNN プライムオンライン　2021 年 1 月 18 日＞　https://www.fnn.jp/articles/-/132532

◇[中国] 中国 乳幼児用クリームで“赤ちゃんの顔 腫れあがる被害”
＜NHK　2021 年 1 月 19 日＞　https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210119/k10012821711000.html
中国で、乳幼児の湿しんを抑える効果をうたったクリームを赤ちゃんに使用したところ顔が大きく腫れあがったとして両親がインターネット上で訴え、地元政府は製造した企業の刑事責任を問うことも視野に調査を進めています。
中国東部の江蘇省で今月 7 日、乳幼児の湿しんを抑える効果をうたったクリームを生後 5 か月の赤ちゃんに使用したところ、顔が大きく腫れあがったとして両親がインターネット上に写真や動画を投稿しました。
国営の中国中央テレビによりますと、これを受けて、このクリームを製造した企業がある南部の福建省の当局が調査した結果、クリームには、皮膚炎の治療などに使われるホルモン剤が含まれている疑いがあることがわかったということです。
そのうえで、中国中央テレビはこのホルモン剤が腫れの原因の可能性があると指摘し乳幼児への使用は直ちに控えるべきだとする医師の話を伝えています。
地元の当局は 18 日、製造した企業に対し、生産や営業の許可を取り消し、刑事責任を問うことも視野に調査を進めていると発表しました。
中国では、2008 年に工業用の化学物質「メラミン」が混入した粉ミルクを飲んだ乳幼児少なくとも 6 人が死亡する健康被害が起きて以降、乳幼児の健康に対する関心が高まっていて、今回の問題について地元メディアは連日、大きく取り上げています。

◇火災、爆発事故等（省庁発表）
・秋田県内で爆発火災事故(死者１名)が発生しました
＜経済産業省　2021 年 1 月 19 日＞>
https://www.meti.go.jp/press/2020/01/20210119005/20210119005.html?from=mj

---

◇その他の事故、事件
・消費生活用製品の重大製品事故:リコール製品で火災等(ノートパソコン、電気毛布)
＜消費者庁　2021 年 1 月 19 日＞　https://www.caa.go.jp/notice/entry/022833/
https://www.caa.go.jp/notice/assets/consumer_safety_cms202_210119_01.pdf
特記事項:
●パナソニック株式会社が製造したノートパソコンのリコール(バッテリー診断・制御プログラムの提供)
●サンコー株式会社が輸入した電気毛布のリコール(製品回収・返金)
１．ガス機器・石油機器に関する事故：該当案件なし
２．ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故：４件
（うち電気あんか１件、ノートパソコン１件、電気毛布２件）
３．ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故：１件
（うち湯たんぽ１件）

・マスク拒否し緊急着陸させた大学職員逮捕　威力業務妨害などの疑い　大阪府警
＜毎日新聞　2021 年 1 月 19 日＞
https://news.yahoo.co.jp/articles/73a6e8dd010dc19e775f89995c1941bd4dfc3e8b/images/000

北海道から大阪に向かうピーチ・アビエーションの飛行機内で２０２０年９月、マスク着用を拒んで客室乗務員らとトラブルになり、臨時着陸させたとして、大阪府警は１９日、乗客だった私立大の非常勤職員、奥野淳也容疑者（３４）＝茨城県取手市＝を威力業務妨害と傷害などの疑いで逮捕した。捜査関係者が明らかにした。

府警は同日午後、奥野容疑者の自宅などを捜索。捜査員に付き添われて自宅を出る際、奥野容疑者は「不当な警察権力の介入だ」などと叫び、捜査車両に乗せられた。

逮捕容疑は２０年９月７日、釧路空港から関西国際空港に向かう機内で、女性客室乗務員の腕をひねって軽傷を負わせた上、飛行機を新潟空港に臨時着陸させてピーチ社の業務を妨害したとしている。

府警は、飛行中の機内で乗客らの安全を脅かす行為で、悪質性が高いと判断したとみられる。

ピーチ社によると、離陸前に乗務員らがマスク着用を求めたが、奥野容疑者は「要請するなら書面を出せ」と拒否。離陸後も威圧的な態度で拒んだという。機長は航空法の「安全阻害行為」に当たると判断し、臨時着陸して奥野容疑者を降ろした。約２時間１５分遅れで関空に到着し、乗客約１２０人に影響した。同社は「機内で大声を出し、他の乗客や乗務員を威嚇したため、安全阻害行為と判断した」と説明している。

奥野容疑者は逮捕前、毎日新聞の取材に「健康上の問題があり、長時間マスクをするのは困難だった。マスク着用は義務ではなく『お願い』で、根拠を聞く正当な理由があった」と話していた。

◇運行業者悩ませる「マスクトラブル」

交通機関でのマスク着用を巡るトラブルは全国で相次ぎ、運行事業者は対応に苦慮している。

北海道エアシステム（ＨＡＣ）の飛行機内では２０２０年９月、乗客の男性が理由を明らかにせずマスク着用を拒否。機長が安全阻害行為に当たると判断し、離陸前に男性を降ろした。

航空各社で作る「定期航空協会」は相次ぐトラブルを受け、マスク着用の要請に同意しない場合は「搭乗を断る場合がある」とホームページで明記。健康上の理由などで着用が難しい場合は申し出てもらうことや、代替品としてハンカチやスカーフ、フェースシールドを例示し、各社もこれに沿った対応を始めた。

タクシーは乗客が泥酔している場合などを除き、乗車を断れないと道路運送法で定められている。このため、各地のタクシー会社などは２０年８月以降、乗客が正当な理由なくマスク着用を拒否した場合は乗車を断ることができるよう、運送約款の変更を申請。国土交通省は同年末までに東京都内で約２７７０、大阪府内で約５６０の事業者について約款変更を認めた。

欧米では航空会社がマスク着用を義務づける動きも進む。元日本航空社員の池辺洋一郎・崇城大教授（航空保安）は「国内では、離島など飛行機が生活路線になっている地域もあり、義務化には慎重な議論が必要だ。トラブルを避けるため、航空会社は搭乗前に着用を要請し、健康上の理由などで着用が難しい乗客は事前に申し出るべきだ」と指摘している。

◇*事故・事件対策、措置、訴訟等*

・高校の校舎の壁から“大量の産業廃棄物”…学校側が約 50 億円の損害賠償等求め前田建設工業を提訴
＜石川テレビ　2021 年 1 月 18 日＞　https://www.fnn.jp/articles/-/132324

校舎などの壁にゴミが残されていた問題で、日本航空学園は約５０億円の損害賠償などを求め、施工業者を提訴しました。

この問題は、日本航空高校石川の校舎などの壁から、産業廃棄物が大量に見つかったものです。

学校を運営する日本航空学園は工事を請け負った前田建設工業に対し、ゴミの撤去費や工事期間中に使用する仮校舎の建設費など約５０億円の損害賠償を求めて金沢地裁に提訴しました。

前田建設工業は「司法の場で解決に向けて対応したい」とコメントしています。

□*大災害、原発事故対策*

[原子力施設全般]

・原発立地、国の厚い支援延長へ　福島事故後初も議論なし
＜朝日新聞　2021 年 1 月 19 日＞　https://www.asahi.com/articles/ASP1L5TBJP1HULZU00J.html

---

・原発立地の議員、厳秘で会合「波風立てず延長決めたい」

＜朝日新聞　2021 年 1 月 19 日＞　https://www.asahi.com/articles/ASP1L6217P1JULZU00G.html

---

[大震災対策]

・地震発生の切迫度 31 の活断層 阪神・淡路大震災直前と同等以上

＜NHK　2021 年 1 月 17 日＞

https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210117/k10012818691000.html?utm_int=all_side_ranking-access_005

****

[2] *[特集] 新型コロナウイルス感染症*

[状況]

◇省庁発表

・国内の発生状況について更新しました

＜厚生労働省　2021 年 1 月 18 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=-QF_-_x05IQcnRxrY

・新型コロナウイルス感染症に関する報道発表資料（発生状況、国内の患者発生、空港検疫事例）を更新しました

＜厚生労働省　2021 年 1 月 18 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=xT1Dx8By2LggoSFXY

・新型コロナウイルス感染症の無症状病原体保有者の発生について（空港検疫）

＜厚生労働省　2021 年 1 月 18 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=IdmnIySWPFzERbSzY

・地域ごとの感染状況等の公表について更新しました

＜厚生労働省　2021 年 1 月 19 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=3ydYwRUT9MLI0ZhNY

・新型コロナウイルスに関連した患者等の発生について(1 月 18 日各自治体公表資料集計分)

＜厚生労働省　2021 年 1 月 19 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=k2sUjVlfuI6EnckBY

・新型コロナウイルス感染症の現在の状況と厚生労働省の対応について（令和 3 年 1 月 18 日版）

＜厚生労働省　2021 年 1 月 18 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=p18hpaIQutpCwzQ1Y

・新型コロナウイルス感染症（変異株）の患者等の発生について

＜厚生労働省　2021 年 1 月 19 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=tU0yq395nqiiu_EnY

◇マスコミ報道　見出し

・国内感染３３万１２７１人　死者は４５３８人―新型コロナ

＜時事通信　2021 年 1 月 18 日＞　https://www.jiji.com/jc/article?k=2021011800317&g=soc

・新型コロナ変異ウイルス WHO 担当者「感染スピード速い」

＜NHK　2021 年 1 月 19 日＞　https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210119/k10012821501000.html

・英国流行変異ウイルス　静岡の 3 人感染確認　市中感染か　厚労省

＜NHK　2021 年 1 月 19 日＞

https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210118/k10012821261000.html?utm_int=all_side_ranking-access_003

[対策・予防]

◇省庁発表

・「水際対策に係る新たな措置について」更新しました

＜厚生労働省　2021 年 1 月 18 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=A_uFAQa0Hn7mZ5SRY

・接種についてのお知らせ

＜厚生労働省　2021 年 1 月 18 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=g3sFgYY0nv5m5xwRY

・新型コロナウイルス感染症のワクチンについて

＜厚生労働省　2021 年 1 月 18 日＞

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/index_00011.html

・皆さまに知っていただきたいこと

＜厚生労働省　2021 年 1 月 18 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=v0c5vboIosJa2yEtY

・新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）ページを更新しました
　＜厚生労働省　2021 年 1 月 19 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=C_OMFcHHIBYcBU2ZY
・新型コロナウイルス感染症医療機関等情報支援システム（G-MIS）：Gathering Medical Information System on COVID-19
　＜厚生労働省　2021 年 1 月 18 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=pVOjp6ASuNhAwTU3Y
・働き方改革推進支援助成金（新型コロナウイルス感染症対策のためのテレワークコース）の３次募集について
　＜厚生労働省　2021 年 1 月 18 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=p18hpaIQutpCwzU1Y

◇マスク

・マスクの選び方は？ ウレタンは性能劣る【素材別の比較結果】

＜HUFFPOST Japan　2021 年 1 月 18 日＞
https://www.huffingtonpost.jp/entry/story_jp_5fd6c3bec5b62f31c1fe4eb8
どの素材のマスクが、最も飛沫の飛散を防げる？
布やウレタンで作られたマスクに比べて、不織布マスクの方が、飛沫の飛散を抑える効果が高い傾向にあることが、国立研究開発法人「理化学研究所」（理研）によるスーパーコンピュー「富岳」を使ったシミュレーション結果で分かった。　---□ 末尾［付録］

・不織布マスク着用 広がる動き　布やウレタンはダメなの?
　＜FNN プライムオンライン　2021 年 1 月 15 日＞　https://www.fnn.jp/articles/-/131580

・鼻出しマスクは感染するし、感染させる「鼻から飛沫が」

＜朝日新聞　2021 年 1 月 19 日＞
https://www.asahi.com/articles/ASP1L628SP1LUBQU003.html?iref=comtop_7_02
　大学入学共通テストの会場で、監督者の注意に従わず鼻を出したままマスクを着け続けた受験生の成績が無効になった。またネット上では、ウレタン製のマスクが悪者扱いされる話題も広がっている。「鼻出しマスク」や「ウレタンマスク」の感染予防効果をどう考えればいいのか。
　大学入試センターのウェブサイトでは、「試験場内では、必ずマスクを着用しなければいけませんか」という問いに対し、「昼食時を除き、常にマスクを正しく着用してください」とある。感覚過敏などによりマスクの着用が難しい場合は、医師の診断書を提出し、別室で受験する必要があるとしている。
　マスクの効果に詳しい聖路加国際大学の大西一成准教授（環境疫学）は「呼吸やくしゃみの際は、鼻からも飛沫（ひまつ）が出る。もし感染者が鼻を出してマスクしていた場合、周囲に感染させるリスクがある」と指摘する。
　また、感染力をもったウイルス飛沫が漂っている環境で鼻で呼吸すると「自分が感染してしまう危険性がある」という。
　ただ、今回の件は「鼻を出した状態でマスクをすることにリスクがあるか、ないかというよりも、試験監督の注意に従わなかったということが大きい」と話す。
　一方で、マスクを着けず、マウスシールドだけを着けている政治家やテレビ出演者もいる。「マスクで鼻を出していたこと自体を責めるならば、こうした状況について大人はどう答えるのか」と疑問を投げかける。
■ウレタンマスク、問題視の…

・マスク+２メートル　コロナ対策で新様式の合唱とは

＜朝日新聞　2021 年 1 月 17 日＞　https://www.asahi.com/articles/ASP1F758CNDTPLBJ004.html
　新型コロナウイルスでは、合唱によるクラスター（感染者集団）の発生も相次いでいる。歌うとき、できるだけ感染リスクを低くするには、どうしたらよいのか。　---□ 末尾［付録］

◇ワクチン、検査薬、治療薬等

・ワクチン義務化に否定的　WHO 緊急委「感染減らせるか明瞭でない」
＜京都新聞　2021 年 1 月 16 日＞　https://www.kyoto-np.co.jp/articles/-/472078
・ワクチンの公平な分配「失敗の危機」　WHO 事務局長
＜朝日新聞　2021 年 1 月 19 日＞
https://www.asahi.com/articles/ASP1M2F7QP1MUHBI005.html?iref=comtop_7_04
・「モラル崩壊寸前」 WHO 事務局長、富裕国のワクチン独占を非難
＜AFP＝時事　2021 年 1 月 18 日＞　https://www.afpbb.com/articles/-/3326967
・［ノルウェー］高齢患者へワクチン接種に懸念も　ノルウェーで死亡例
＜共同通信　2021 年 1 月 18 日＞
https://news.yahoo.co.jp/articles/b79611a08894c9e802ddab8dbae865107b181fc2
・［英国］英、中高年の旅行予約殺到　ワクチン効果？　業界に朗報
＜時事ドットコム　2021 年 1 月 18 日＞　https://www.jiji.com/jc/article?k=2021011700210&g=int
・［インド］ワクチン接種後７人入院　「国産使用回避」医師が嘆願―インド
＜時事ドットコム　2021 年 1 月 19 日＞
https://www.jiji.com/jc/article?k=2021011800633&g=int&utm_source=top&utm_medium=topics&utm_campaign=edit
・接種後の感染、症例情報を集約へ　ワクチン効果分析に活用、厚労省
＜共同通信　2021 年 1 月 18 日＞　https://www.tokyo-np.co.jp/article/80497
・ワクチン接種 16 歳以上の方向　政府が最終調整
＜FNN プライムオンライン　2021 年 1 月 19 日＞　https://www.fnn.jp/articles/-/132812

◇「新型コロナウイルスを死滅」高出力のＬＥＤ、徳島の企業が開発
＜読売新聞　2021 年 1 月 17 日＞　https://www.yomiuri.co.jp/economy/20210116-OYT1T50215/

◇大学等関係

・各大学の「新型コロナウイルス感染症」の対応について【神奈川～九州・沖縄】(1/18 更新)
＜大学プレスセンター　2021 年 1 月 18 日＞　https://www.u-presscenter.jp/article/post-43302.html
・各大学の「新型コロナウイルス感染症」の対応について【北海道～東京】(1/13 更新)
＜大学プレスセンター　2021 年 1 月 13 日＞　https://www.u-presscenter.jp/article/post-43243.html
---

・秀明大学、学内専用の PCR 検査室を設置
＜朝日新聞　2021 年 1 月 18 日＞　https://www.asahi.com/articles/ASP1K6RHNP18UDCB00S.html
---

◇効果的なオフィスの感染対策は？ 専門家らチェックシート作成

＜NHK　2021 年 1 月 19 日＞　https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210119/k10012821481000.html
新型コロナウイルスの感染対策をオフィスで効果的に実施するにはどうすればよいのか、感染症対策の専門家とオフィスビルの施工を手がける大手ゼネコンが、現状の対策を評価するチェックシートを作り、リスクを減らすための改善策を提案する業務を始めることになりました。
チェックシートを作ったのは、順天堂大学大学院で感染制御を専門とする堀賢教授と大手ゼネコンの清水建設です。
オフィス内での感染対策について企業からの問い合わせが相次いでいることから、ビルの構造や設備、人の動きかたなどをもとに、受付や執務室など、それぞれの場所での対策を点数で評価します。
それによりますと、ドアやトイレの設備が接触するタイプかどうかや部屋の空調設備の 1 時間の換気能力とそれに適した人数となっているか、受付の方法などチェックする項目の数は、100 近くに上ります。
それぞれの項目について 5 点満点で採点し、建物全体から点数の低いリスクの大きい箇所を洗い出し、改善の提案につなげるとしています。

堀教授は「企業が感染症対策を見直すきっかけにしてもらうとともに、食堂やエレベーターホールなど人が滞留しがちな場所では、人の流れの動きを一方向に限定した設計にするなど、感染対策を考慮したビル設計についても今後、考えていく必要がある」と指摘しています。
堀教授と清水建設では今月中にも業務を始めたいとしています。

◇自宅療養患者は自身で健康観察へ　神奈川県
＜テレビ神奈川　2021 年 1 月 18 日＞
https://news.yahoo.co.jp/articles/e433fd0031e8963ebdc26876ab6175eeee4ecea8
自宅療養中の患者が増加していることを受け、神奈川県は 18 日、職員らが行っていた患者の健康観察について、患者自身で行うことを基本とする体制に変更すると決定しました。
県は自宅療養している軽症・無症状患者について、これまで電話などによる健康観察を 1 日 2 回行ってきましたが、自宅療養中の患者は現在 5000 人を超え、死亡事例も発生するなど、対応が困難になっている状況があります。
　このため県は 18 日、健康観察を患者自身が行う体制に転換することを決定。 血液中の酸素量を計測する「パルスオキシメーター」を、40 代以上などの重症化の懸念がある患者に重点的に配布。 数値の変化を患者が常に確認し、症状が悪化した場合は、連絡を受けた医師らが対応することになります。
また、すぐに入院できない場合に備え、一時的に酸素吸入を行う拠点を設置するなど、災害時の「救護所」のような体制の構築を検討するということです。
県は今後、自衛隊の派遣要請も視野に、1 月中の体制構築を目指すとしています。

◇マスコミ報道　見出し
・新型コロナウイルス「完全に排除できない」　国内 1 例目確認の研究者が説く共存の道
＜京都新聞　2021 年 1 月 16 日＞　https://www.kyoto-np.co.jp/articles/-/472070
・新型コロナ、10 年後は普通の風邪　米大学研究チームが試算
＜毎日新聞　2021 年 1 月 18 日＞　https://mainichi.jp/articles/20210118/k00/00m/040/169000c
・コロナ肺炎「ハッピー低酸素」症の罠
＜JBpress　2021 年 1 月 18 日＞　https://jbpress.ismedia.jp/articles/-/63653
・「死ぬんじゃないか…」自宅療養者が急増 その過酷な状況とは
＜NHK　2021 年 1 月 18 日＞
https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210118/k10012820711000.html?utm_int=detail_contents_news-related_005
・コロナ疑い「搬送困難」15 回拒否され 2 時間要した患者も　医療ひっ迫の京都で急増
＜京都新聞　2021 年 1 月 19 日＞　https://www.kyoto-np.co.jp/articles/-/473201
****

[3] *健康安全*
◇家庭内で受動喫煙 10 年超…若者の虫歯リスク 1.5 倍に
＜朝日新聞　2021 年 1 月 18 日＞　https://www.asahi.com/articles/ASP1K6VMNNDPPPZB00B.html
　家庭で 10 年以上、たばこの煙を浴びた若者が虫歯になりやすいことを裏付ける調査結果を、岡山大の研究グループがまとめた。受動喫煙の経験がない若者と比べ、虫歯リスクが約 1・5 倍高かった。研究者は「家庭での喫煙は家族のお口の健康も奪う」と注意を呼びかける。
　森田学・岡山大大学院教授（予防歯科）らのグループが、2019 年に岡山大に入学した全 2241 人を対象に調査。受動喫煙による幼児の乳歯への悪影響は知られているが、若者の永久歯への調査は他にほとんどないという。
　虫歯本数と家庭内の喫煙状況の関係を調べた。項目は、虫歯の本数と歯磨き習慣▽甘いおやつや飲み物をとる頻度▽同居家族の喫煙歴――など。20 歳以上や本人が喫煙者であるケースなど 336 人を除き、1905 人の回答を解析した。
　その結果、「虫歯」「虫歯で失った歯」「虫歯治療痕がある歯」のいずれかが 1 本以上ある「虫歯群」は 884 人。一方、全くないのは 1021 人だった。

****

[4] ***肥料***

◇肥料を登録した件（農林水産省告示第 129 号）

［官報］ 令和 3 年 1 月 19 日 本紙 第 414 号 7 頁

https://kanpou.npb.go.jp/20210119/20210119h00414/20210119h004140007f.html

肥料の新規登録 16 件が公示された。

****

[5] ***環境安全関係***

◇北九州響灘洋上ウィンドファーム（仮称）に係る環境影響評価準備書に対する環境大臣意見の提出について

＜環境省 2021 年 1 月 19 日＞ http://www.env.go.jp/press/108973.html

◇（仮称）石狩湾沖洋上風力発電事業に係る計画段階環境配慮書に対する環境大臣意見の提出について

＜環境省 2021 年 1 月 19 日＞ http://www.env.go.jp/press/108972.html

****

[6] ***調査、公募、意見募集等***

[公募、意見募集等]

◇「デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン」の公募について ２月１日まで

＜文部科学省 2021 年 1 月 18 日＞ http://mailmaga.mext.go.jp/c/afykacwqgvcl2abR

[調査結果]

◇「令和 3 年 1 月物価モニター調査結果(速報)(令和 3 年 1 月 19 日)」を掲載しました。

＜消費者庁 2021 年 1 月 19 日＞

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_research/price_measures/index.html#price_monitor

---

[統計資料]

◇石油統計月報（2020 年 11 月分）

＜経済産業省 2021 年 1 月 18 日＞

https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/sekiyuka/index.html?pk_campaign=mm_statistics

****

[7] ***その他省庁発表***

◇労働政策審議会建議「男性の育児休業取得促進策等について」を公表します

＜厚生労働省 2021 年 1 月 18 日＞ https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=CfGPCwy-FHTsbZSbY

****

[8] ***関連会議等の開催案内、記録・報告、資料等***

[開催案内]

・令和３年２月の中央環境審議会環境保健部会石綿健康被害判定小委員会及び同小委員会審査分科会の開催について ２月５、16、19、25 日、Web 会議、非公開

＜環境省 2021 年 1 月 18 日＞ https://www.env.go.jp/press/108982.html

医学的判定に係る調査審議（中皮腫・肺がん・石綿肺・びまん性胸膜肥厚）

・電離放射線障害の業務上外に関する検討会

＜厚生労働省 2021 年 1 月 18 日＞ https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=rVUrr6gasNBIyTQ_Y

・第 63 回「電離放射線障害の業務上外に関する検討会」を開催します １月 25 日、非公開

＜厚生労働省 2021 年 1 月 18 日＞ https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=L9epLSqYMlLKS7S9Y

（１）個別の労災請求事案に係る医学的事項について

・北海道労働局事案

・福島労働局事案（３件）

・東京労働局事案
（２）その他
・薬事・食品衛生審議会　総会・薬事分科会を開催します　　１月 25 日、Ｗｅｂ会議
＜厚生労働省　2021 年１月 18 日＞https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=Q7vFQUb0Xj6mJ7TRY
・令和２年度温室効果ガス排出量算定方法検討会（第１回）の開催について　　１月 27 日 、WEB 形式
＜環境省　2021 年１月 19 日＞　http://www.env.go.jp/press/108969.html
（１）令和２年度温室効果ガス排出量算定方法検討会について
（２）2021 年に提出する温室効果ガスインベントリの算定方法について
（３）その他
・子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）「第 10 回エコチル調査シンポジウム」のオンライン開催について　　２月 21 日、オンライン
＜環境省　2021 年１月 19 日＞　http://www.env.go.jp/press/108977.html
第１部　講演
「エコチル調査 10 年のあゆみ」
第２部　成果紹介とパネルディスカッション
「エコチル調査の結果で、私たちの生活はどう変わるの？」
・令和２年度環境配慮契約法基本方針検討会(第２回)の開催について　　１月 22 日 、Web 会議
＜環境省　2021 年１月 19 日＞　http://www.env.go.jp/press/108994.html
（１）環境配慮契約法基本方針等の検討状況等について
（２）令和元年度における環境配慮契約の締結実績について
（３）環境配慮契約法基本方針解説資料の改定について
（４）その他
・中央環境審議会地球環境部会（第 146 回）の開催について　　１月 26 日、WEB 型式
＜環境省　2021 年１月 19 日＞　http://www.env.go.jp/press/108955.html
（１）国内外の最近の動向及び中長期の気候変動対策について（報告）
（２）地球温暖化対策推進法の見直しの検討状況について（報告）
（３）気候変動影響評価について（報告）
（４）その他
・薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会（Web 会議）開催案内　　1 月 25 日
＜厚生労働省　2021 年１月 19 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=8wt32qABuNeMVd5hY
・第２回特定保健用食品制度(疾病リスク低減表示)に関する検討会の開催について
1 月 22 日、ウェブ会議によるオンライン開催
＜消費者庁　2021 年１月 19 日＞　https://www.caa.go.jp/notice/entry/022715/
1.　疾病リスク低減表示の今後運用について
2.　その他
・第２回特定保健用食品制度(疾病リスク低減表示)に関する検討会の開催について
1 月 22 日、ウェブ会議によるオンライン開催
＜消費者庁　2021 年１月 19 日＞　https://www.caa.go.jp/notice/entry/022715/
1.　疾病リスク低減表示の今後運用について
2.　その他
・第１回建築物衛生管理に関する検討会　資料　　１月 29 日 、ウェブ開催
＜厚生労働省　2021 年１月 19 日＞　https://www.mhlw.go.jp/stf/dai1kai_kentoukai_shiryou.html
・「気候変動影響評価報告書公表記念シンポジウム ―気候変動による影響をどのように受け止め、行動へつなげるか―」の開催について　　２月９日
＜環境省　2021 年１月 19 日＞　http://www.env.go.jp/press/108963.html
講演１：『気候変動に関する国内外の動向と政府の取組、気候変動影響評価報告書について』
講演２：『日本における気候変動の概要』

講演３：『主要分野における気候変動影響について』
・令和２年度再生可能エネルギーの適正な導入に向けた環境影響評価のあり方に関する検討会（第１回）の開催について　　１月 21 日、オンライン会議
＜環境省　2021 年１月 19 日＞　http://www.env.go.jp/press/108960.html
（１）再生可能エネルギーの適正な導入に向けた環境影響評価のあり方に関する検討会の設置について
（２）環境影響評価法の対象となる風力発電所の規模要件の検討の経緯について
（３）関係者ヒアリング
（４）その他
・脱炭素経営フォーラム（2020 年度）の開催について　　１月 27 日、オンライン
＜環境省　2021 年１月 18 日＞　https://www.env.go.jp/press/108996.html
・質保証システム部会（第７回）の開催について　　１月 25 日、WEB 会議
＜文部科学省　2021 年１月 18 日＞　http://mailmaga.mext.go.jp/c/afykacwqgvcl2abG
（テーマ）質保証システム全体を通じた考え方、「質が保証されている大学」について(3)
(1)　大学における質保証の取組について有識者ヒアリング
(2)　学生調査を活用した質保証、情報公表について有識者ヒアリング
(3)　各プレゼンテーションを踏まえた議論
****
[9] *その他*
◇*インフルエンザ、感染症関係*
・鹿児島県の死亡野鳥におけるＡ型鳥インフルエンザ遺伝子検査陽性について
＜環境省　2021 年１月 17 日＞　http://www.env.go.jp/press/109011.html
・岡山県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（家きん国内 22 例目）に係る野鳥監視重点区域の解除について
＜環境省　2021 年１月 18 日＞　http://www.env.go.jp/press/109013.html
・広島県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（家きん国内 17 例目）に係る野鳥監視重点区域の解除について
＜環境省　2021 年１月 18 日＞　http://www.env.go.jp/press/109012.html
・高知県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（家きん国内 27 例目）に係る野鳥監視重点区域の解除について
＜環境省　2021 年１月 19 日＞　http://www.env.go.jp/press/109014.html
――――――――――――――――――――
◇*薬物関係*
・大麻　厳罰化は国際的に逆行か
「厳罰主義もうやめよう！」薬物政策転換へ署名　米国は新政権誕生で大麻の非犯罪化に拍車か
＜共同通信　2021 年１月 18 日＞　https://www.47news.jp/5734807.html
国際社会で厳罰方針の見直しが進む薬物政策だが、日本では厚生労働省が大麻取締法の罰則強化を議論する方針と報じられたばかりだ。危機感を抱いた亀石倫子弁護士らは、電子署名サイトＣｈａｎｇｅ．ｏｒｇで、厳罰主義から治療や支援へと薬物政策の転換を訴え始めた。
▽国際的な非犯罪化の流れに反し…
近年、世界中で急速に規制緩和が進む大麻。約２０カ国で合法化され、約５０カ国で非犯罪化（法律では規制されているが、少量の所持は取り締まりがなされない状態）されている。１９９０年代以降に科学的研究が発展し、国際的規制が始まった２０世紀半ばに想定されていたほど大麻が有害であると考えられなくなったことや、高い医療的価値が認められたことが背景にある。
戦後、日本の大麻規制を形づくった米国では９０年代以降、州レベルで大麻解禁が進行。５０の州のうち現在、医療目的のみで３３州、娯楽目的も含めると１５州の計４８州で合法化されている。
まだ連邦レベルでは合法化されていないものの、ワシントン・ポストによると、次期大統領に就任するバイデ

ン氏は大統領選で大麻の非犯罪化を提唱。元検察官で副大統領に就任するカマラ・ハリス氏も同様の主張をしており、副大統領討論会では「（バイデン＝ハリス政権は）大麻を非犯罪化し、大麻で有罪判決を受けた人々の記録を抹消する」とまで述べた。

加えて昨年、連邦議会下院で大麻合法化法案が可決。上院は共和党優勢のため法案成立は難しいとみられていたが、今年１月のジョージア州での決選投票で民主党が勝利したことで、共和党と同数の５０議席を獲得。連邦レベルでの大麻合法化が一気に現実味を帯び始めたのだ。なお、食用や衣料品用などの産業用大麻（ヘンプ）は２０１８年に連邦レベルで解禁され、市場拡大が進んでいる。

また国連でも動きがある。昨年１２月にはヘロインなど「医療的価値がなく有害な薬物」をリストアップしたスケジュール４から大麻が削除された。

しかし、日本政府はこうした国際的な動きに逆行するような動きを見せている。若者の摘発増加を理由に、１９４８年の成立から大麻の所持や譲渡のみを規制してきた大麻取締法を巡り、新たに「使用罪」を加える可能性があるというのだ。

厚労省は１月から、「大麻等の薬物対策のあり方検討会」を開催すると発表。医学、薬学、法学の専門家を委員に招いて薬物対策の見直しを図るとしているが、使用罪についても議論の俎上（そじょう）に上るとみられている。

▽薬物政策の転換求める声

厚労省の発表を受け、亀石倫子弁護士ら６人の刑事弁護人は「厳罰化は誰も幸せにしない。薬物政策をハーム・リダクションへ転換を！大麻等の薬物取り締まり強化と『大麻使用罪』創設に反対します！」（http://chng.it/PhLvKzvr）と題した電子署名をスタートさせた。

署名では、欧米を中心に広がる「ハーム・リダクション」の考え方を紹介。ハーム（害）をリダクション（減少）させるという意味で、薬物使用での健康や社会へのダメージを減らすことを主眼に置いた薬物対策のことだ。具体的には、違法薬物の依存に対しては刑罰で規制するのでなく、支援や治療につなげることで依存者を減らす取り組みとなる。

そうした発想の根底にあるのは、薬物使用者を刑務所に入れても依存や乱用は治らず、むしろ違法薬物が反社会的組織の資金源となって社会的な害を増加させてしまうという認識だ。各国で進む大麻の非犯罪化もその一例である。

２０１１年には世界の元首脳や有識者からなる国際薬物政策委員会が「国際的な薬物戦争は、世界中の人々と社会に対して破壊的な影響を与え失敗した」と直言。１４年にはWHOが、ＨＩＶ感染防止のガイドラインで各国にハーム・リダクション政策を推奨しているほか、日本政府代表も参加した１６年の国連麻薬特別総会でも「薬物依存を健康障害と認識し、ケアやリハビリを強化する」としてＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）と関連づけた文書が採択されている。

「厳罰化によって『犯罪者』のレッテルを貼られ、肩身の狭い思いをし、家族や友人が離れ、学校や職場に居場所がなくなり、社会から孤立する。厳罰化は、誰も幸せにしません」。亀石弁護士らは署名で、薬物政策の転換を訴えている。

大麻の非犯罪化や処罰の軽減については、国内の法学者間でも奇異な主張とは見なされていない。実は大麻取締法は成立当時、「違反者は３年以下の懲役または３万円以下の罰金に処する」として罰金刑があったものの、法改正で削除されて懲役刑のみになった経緯がある。そのことについて、法学の専門書は以下のように書いている。

「大麻の有害性が従来考えられていた程のものではないとすれば、立法政策として罰金刑を復活させる余地はある」（伊藤栄樹ら編「注釈特別刑法　第８巻」立花書房、１９９０年）

「大麻の有害性がかつて考えられていた程のものでないとすれば・・・選択刑として罰金刑を復活させることが考慮されてよいと思う」（平野龍一ら編「第２版　注解特別刑法５　医事・薬事編２」青林書院、９２年）

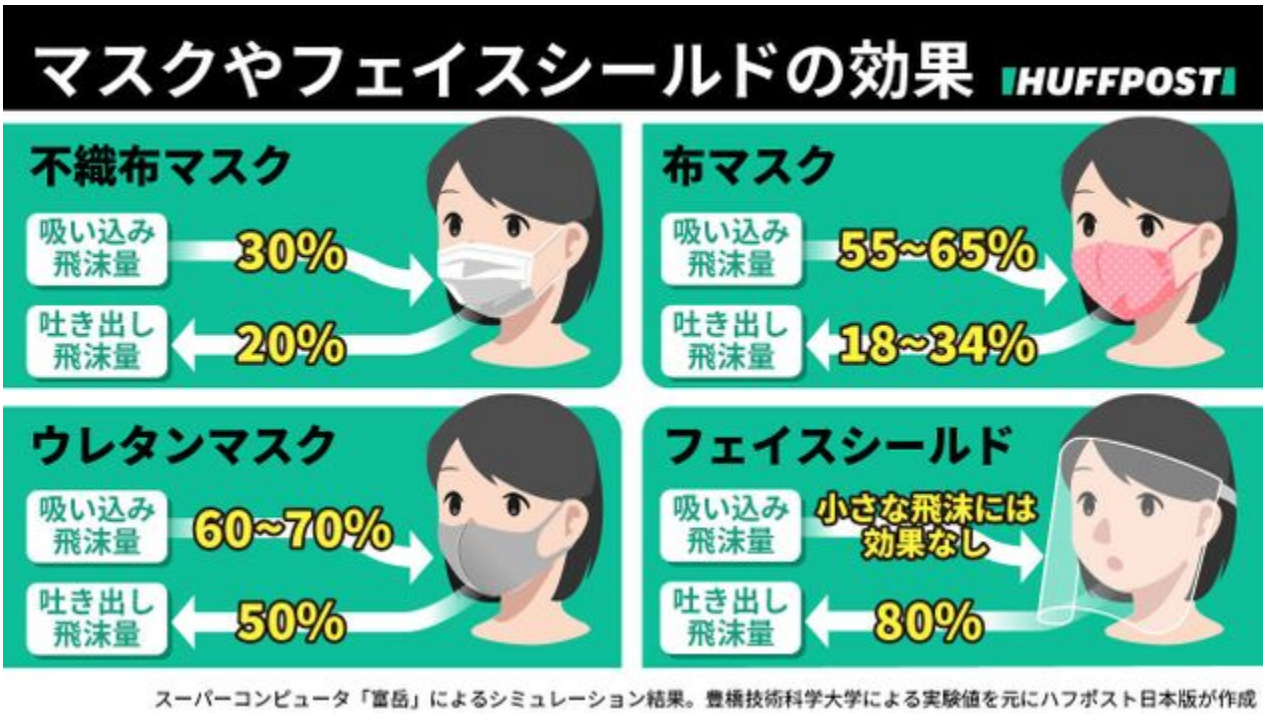
ところが、日本政府はハーム・リダクションの潮流にも、「薬物の乱用防止には、徹底した取締りと乱用者を発生させない対策のバランス、および各国特有の薬物事情を踏まえた施策が必要である」と慎重な姿勢を崩しておらず、国際社会に「わが国の考え方への理解を求める」（第５次薬物乱用防止５カ年戦略）と説明するのみだ。市民の声は事態を動かすきっかけとなるのだろうか。

［備考］

・大麻経験、推計 160 万人　年間使用者は 9 万人超か
＜共同通信　2020 年 6 月 16 日＞　https://www.47news.jp/relation/2021011803
****
[付録]
◇マスク
・マスクの選び方は？ ウレタンは性能劣る【素材別の比較結果】　上記［2］関係
＜HUFFPOST Japan　2021 年 1 月 18 日＞
https://www.huffingtonpost.jp/entry/story_jp_5fd6c3bec5b62f31c1fe4eb8
どの素材のマスクが、最も飛沫の飛散を防げる？
布やウレタンで作られたマスクに比べて、不織布マスクの方が、飛沫の飛散を抑える効果が高い傾向にあることが、国立研究開発法人「理化学研究所」（理研）によるスーパーコンピューター「富岳」を使ったシミュレーション結果で分かった。
理研チームリーダーで神戸大教授の坪倉誠氏は、「その日の体調や（感染）リスクなどを考えてマスクを選んでほしい」と呼びかけている。
息が吸いにくい＝性能が良い
理研、豊橋技術科学大、神戸大の研究チームは、マスクの素材ごとのフィルター性能と通気性を実験で計測した。実験結果を基に、人がマスクを着用したとき、飛沫を外に漏らさない「捕集効果」（＝性能）をマスク別でシミュレーションした。
その結果、不織布マスクはウレタンや布よりも性能が高い反面、通気性が悪いことが分かった。
布マスクは、不織布やウレタンに比べて通気性が良く、性能も比較的良かった。おしゃれさが人気のウレタン製マスクは、不織布と比べて性能は劣った。
一方で、坪倉氏は「ひと口に不織布といっても性能幅がある。布マスクよりも性能が劣っている不織布も市販されている」と説明。「基本的には『息が吸いにくい＝性能が良い』と覚えてもらいたい」とした。
日常の場面ごとに、どのマスクを選べば良いのか？
坪倉氏は「マスクは性能だけでなく、通気性や、（繰り返し使えるかという）対費用効果も考えて選択するのが良い。その日の体調やリスクを考えて選んでほしい」と述べた。具体的には、日常のオフィスなら布マスク、人と集まる密になるような機会があるなら不織布マスクを着けることを提案している。
不織布、吐き出しを 8 割抑制
マスクの素材別で、吸い込む飛沫量と吐き出す飛沫量はどれほど違うのか？
豊橋技術科学大のプレスリリースによると、吐き出しの飛沫量は不織布マスクは 80%、布マスクは 66%～82%が抑制された。吸い込み飛沫量では、不織布マスクの場合はマスクと顔に隙間がある場合でも飛沫量を 3 分の 1 ほどにできるという。
一方で、フェイスシールドは大きな飛沫（50 マイクロメートル以上の水滴）であれば抑制する効果が見込めるが、より細かいエアロゾルはほぼ漏れてしまうことが分かった。
マスクの素材別の吐き出し飛沫量・吸い込み飛沫量の違いを調べた研究チームの実験・シミュレーション結果は以下の通り。

（マスクなどの種類／吐き出し飛沫量／吸い込み飛沫量）
▽不織布マスク／20%／30%
▽布マスク／18～34%／55～65%
▽ウレタンマスク／50%／60～70%
▽フェイスシールド／80%／小さな飛沫に対しては効果なし（エアロゾルは防げない）
▽マウスシールド／90%／小さな飛沫に対しては効果なし（エアロゾルは防げない）

※出典：豊橋技術科学大のプレスリリース



・マスク+２メートル　コロナ対策で新様式の合唱とは　　上記［2］関係

＜朝日新聞　2021 年 1 月 17 日＞　https://www.asahi.com/articles/ASP1F758CNDTPLBJ004.html

新型コロナウイルスでは、合唱によるクラスター（感染者集団）の発生も相次いでいる。歌うとき、できるだけ感染リスクを低くするには、どうしたらよいのか。

合唱による感染は、早くから指摘されてきた。米ワシントン州の合唱団では昨年 3 月、2 時間半の練習に参加した 61 人のうち、52 人に感染が広がったとみられる事態が起き、米疾病対策センターが報告書（https://www.cdc.gov/mmwr/volumes/69/wr/mm6919e6.htm 別ウインドウで開きます）をまとめている。

国内では学校で合唱していた子どもの感染が相次いで確認され、文部科学省は昨年 12 月、原則マスクをつけ、前後左右の間隔を 2 メートル（最低 1 メートル）空けて歌うよう求める通知を出した。

「第九」で１メートル超え飛ぶ飛沫

この通知の背景には、歌い手からしぶき（飛沫（ひまつ））がどう広がるのか、実際に調べた実験のデータがあ。

全日本合唱連盟と東京都合唱連盟は 12 月に報告書をまとめた。様々な年齢の人に、小さな飛沫を可視化する特殊なカメラの前で歌ってもらい、飛沫の飛ぶ距離や量を見た。

自身も合唱団に所属する横浜市立大学病院の加藤英明・感染制御部長が実験を監修した。曲は、はっきりした強弱があり、卒業式などで人気の合唱曲「大地讃頌（さんしょう）」（曲・佐藤真、詞・大木惇夫）の最終盤、「母なる大地を」から徐々に声量が増す 14 小節と、日本語との違いを見るためにドイツ語の「第九」で試した。

5 マイクロメートル以上の比較的大きな飛沫でみると、大地讃頌では男性で最大 61 センチ、女性で最大 56 センチまで飛んだ。ドイツ語の第九では遠くまで飛び、最大で 111 センチだった。

合唱の練習で用いられる、母音だけで歌う方法では、ほとんど飛沫が見られなかった。「ははなるだいちを」であれば「あああうあいいお」と歌う方法だ。子音によって飛沫の発生に差があり、50 音を読み上げる実験では、タ行やパ行などで増えた。

マスクをつけて歌うと飛沫は大幅に減った。ただし、歌唱用マスクとして使われることがある、鼻の部分から胸元まで布を垂らす形のマスクでは、隙間のある下の部分から飛沫が広がる様子が見られた。

加藤さんは、「音をハモらせるために人と人との距離を短くしたいという希望はあるが、人との距離を空ければ空けるほど安全なのは間違いない」と話す。

実験を受けて改訂した全日本合…

********** 以上 **********